

事業所名		児童発達支援教室わかくさ武庫之荘東		支援プログラム		作成日	令和7年	1月	21日
法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します							
支援方針		○個々の発達の状態や特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指して支援します ・一人ひとりの発達に合わせて支援（個別支援）・できることを増やしたり、隠れている力を引き出す　・できた！を積み重ね、チャレンジする心や意欲を育てる ○ご本人と保護者様が安心し、信頼して頂けるような関係づくりを目指します ○地域や移行先との連携を強化し、常に協力的な体制でいることを心掛けます							
クラス		小集団療育（2～3クラス）							
営業時間		平日14時00分（放課後）～17時35分／学校休校日11時30分～17時30分							
送　　迎		あり							
		支　援　内　容							
本人支援	健康・生活	健康なところとからだの育成に根ざす、一人一人に寄り添った支援 屋内活動…はじまりの会、ふれあい遊び、リトミック、設定活動、自由遊び 屋外活動…公園(春・秋・冬)、地域のフィールドワークや体験学習							
	運動・感覚	様々な活動を通して、日常生活に必要な姿勢や動作を学ぶ 感覚統合運動（体幹やバランス）を意識した運動遊びやゲーム等を取り入れるとともに、工作や表現活動を一緒に楽しみながら、 お子さまの身体を動かし、イメージする力を育みます。							
	認知・行動	スモールステップによる実感を伴う成長を促す お子さま一人一人の認知課題に応じて、感覚・概念の認知形成や、ことばの意味理解、社会生活において感じる難しさ等それぞれに焦点を当てて、 楽しく遊ぶ中で少しずつ「できた！」を増やしていけるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	思いや考えを相手に伝える手段を身に付ける お友だちや先生とのかかわりを通じて、お子さまの「伝えたい」の気持ちを大切にくみ取りながら、適切な要求表現、 自分の思いを伝える方法を具体的に示し、スタッフと一緒に言葉にしていける練習をします。							
	人間関係 社会性	集団生活におけるルールやマナーを知り、社会性を育む わかくさの中での活動や遊びを通してお友だちと関わりながら、集団生活に必要なルール・マナーを身につけます。							
家族支援		わかくさ・家庭での様子を共有し、安心してご利用頂く 連絡ノートや面談等で日々の様子や支援内容を共有し、ご家庭での困り事は、保護者の方の気持ちに寄り添い、解決策を一緒に考えていきます。							
移行支援		本児・ご家族が安心して生活できるよう支援する 併用機関や移行先への情報提供を図り、お子さまやご家庭の思いを汲み取り、スムーズに次のステップへ移行できるよう助言を行います。							
地域支援・地域連携		学校機関や他療育施設、医療機関などと日々の様子や支援内容を共有し、連携を図る							
職員の質の向上		外部のオンライン研修に受講し、研修内容を職員間で共有します。 定期的にケース会議を開き、支援内容について話し合います。			主な行事等		季節の変化を感じられるよう、その季節に沿った活動内容を取り入れます。 （春…ちょうちょ製作　夏…プール　秋…果物狩り　冬…お正月遊び）等		